平成29年度 市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項目	奈良市	大和高田市	大和郡山市	天理市	橿原市	桜井市	五條市	御所市	生駒市	香芝市	葛城市	宇陀市	
<基本的データ>													
A 1	児童人口(0~17歳)	51,458	8,234	12,429	11,259	19,123	8,327	3,677	2,786	20,628	15,136	6,729	3,564
A 2	妊娠届出数	2,413	391	586	556	979	391	145	122	859	732	316	112
A 3	児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	817	74	75	247	289	154	5	2	316	82	31	63
<母子保健分野の状況> *H30.3.31時点													
B 1	母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B 2	乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	92.8%	98.6%	100.0%	97.6%	98.0%	98.0%	98.6%	100.0%	98.9%	96.5%	98.5%	100.0%
B 3	同未受診児の現認率*	100.0%	100.0%	-	45.5%	83.3%	100.0%	50.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	-
B 4	1歳6ヶ月児健康診査受診率	93.9%	99.4%	92.1%	96.9%	98.5%	96.4%	97.6%	100.0%	94.7%	95.2%	95.7%	100.0%
B 5	同未受診児の現認率*	100.0%	100.0%	66.7%	69.6%	71.4%	72.7%	66.7%	-	100.0%	75.0%	100.0%	-
B 6	3歳児健康診査受診率	89.4%	98.8%	96.0%	92.7%	98.3%	95.1%	94.3%	100.0%	88.2%	94.3%	92.4%	98.0%
B 7	同未受診児の現認率*	100.0%	50.0%	100.0%	83.6%	100.0%	93.8%	20.0%	-	92.3%	80.0%	100.0%	100.0%
B 8	母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<子育て支援事業の状況>													
C 1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 2	同事業の訪問率*	99.2%	99.4%	94.2%	100.0%	97.9%	99.2%	100.0%	100.0%	98.9%	99.3%	90.9%	93.7%
C 3	養育支援訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 4	同事業の年間訪問戸数	36	135	14	1	10	9	18	11	33	30	10	3
C 5	子育て短期支援事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 6	一時預かり事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 7	児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	746	161	106	39	467	24	0	21	283	29	45	38
C 8	未所属児童の把握にかかる調査の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 9	民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・個別事例に合わせて情報共有等の連携を実施	・予防接種手帳交付会でアンケートを配布し「訪問してもよい」と回答した家庭への訪問支援と見守り支援を実施	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・児童虐待防止に向けた啓発活動	-	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・児童虐待事例等への見守り支援 ・つどいの広場への参加	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・母子保健事業への参加 ・児童虐待事例等への家庭訪問支援、見守り支援	-	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・代表者会議や個別ケース検討会議への参加及び地域での見守り支援	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	-
<広報啓発の状況>													
D 1	オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
D 2	啓発の方法等	・里親月間及び児童虐待防止月間における街頭啓発、市役所内でのパネル展、市民だよりによる特集、佐保短期大学子どもフェスタでの啓発を実施	・広報誌に児童虐待防止に向けた啓発記事を掲載。 ・市民向けイベント(9月:子育てフェスティバル、11月:元氣ウィーク)で啓発物品(ポケットティッシュ)を配布。	・市の広報誌に啓発記事を掲載。 ・児童虐待防止推進月間中のイベントにおいて、パレードへの参加、ブースの出演。 ・図書館において児童虐待防止関連図書を展示。	・市の広報誌に啓発記事を掲載。 ・児童虐待防止の啓発を図るビラを配布。	・啓発物品(ポケットティッシュ・オレンジリボン)をイベント等で配布。	・市の広報誌への啓発記事の掲載のほか、児童虐待防止の標語募集の実施。 ・オレンジリボンキャンペーンにおける各種取組の実施(県内一斉キャンペーン、市ウォーキングフェスティバル、街頭啓発での啓発物品配布。職員がオレンジリボン装着、啓発展示、横断幕の設置等)。 ・虐待死亡事件の発生日にあわせた街頭啓発。	・乳幼児健診等で児童虐待に関するポスター掲示。 ・市民向けイベント等での啓発物品(パンフレット・オレンジリボン等)の配布。 ・啓発イベント時に、オレンジリボンがプリントされたTシャツやジャンパー、リボンを装着。	・年度当初及び10月~11月の期間、市内の保育施設や学校を対象に児童虐待防止の啓発グッズ(リーフレット等)を配布。 ・11月1日 県内一斉キャンペーン(市役所西女関、近鉄御所駅)で啓発物品を配布。 ・市民向けイベント(「ふるさと」食と農のフェスタ)にて啓発実施。	・広報誌に児童虐待の通告を促す記事を掲載。 ・オレンジリボンキャンペーン(近鉄五位堂、二上駅)で啓発物品を配布(ポケットティッシュ等)。 ・「障害児・者ふれあいのつどい」にて啓発物品の配布(オレンジリボン等)。	・市の広報誌に児童虐待防止月間の周知を図る啓発記事を掲載。 ・市のイベントにおいてブースを設けて啓発物品を配布。 ・職員がオレンジのTシャツを着用し児童虐待防止を啓発(6月~11月の毎週木曜)。	・市の広報誌に児童虐待防止の啓発記事を掲載。 ・市民向けイベントや駅前、ショッピングセンター等で啓発物品を配布(チラシ等)。 ・市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校を通じて全児童に啓発物品を配布(チラシ等)。	
<児童虐待への対応状況>													
E 1	要対協個別ケース検討会議開催回数	268	42	45	23	23	29	25	5	533	17	9	6
E 2	家庭児童相談員の配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
E 3	児童虐待関連業務への実質対応職員数	7.4	4.2	2.3	2.7	6.7	5.7	0.9	3.2	8.5	1.2	2.2	1.7
E 4	実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	110.4	17.6	32.6	91.5	43.1	27.0	5.6	0.6	37.2	68.3	14.1	37.1
E 5	児童虐待対応のための体制拡充												
	①職員の増員			○						○			
	②広報啓発の実施				○								
	③研修会の開催				○								
	④備品購入・改修等の環境整備												
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築												
	⑥市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置												
	⑦その他の体制強化									・スーパーバイザーの配置			

平成29年度 市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項目	山添村	平群町	三郷町	斑鳩町	安堵町	川西町	三宅町	田原本町	曾爾村	御杖村	高取町	明日香村	
<基本的データ>													
A 1	児童人口(0~17歳)	361	2,429	3,603	4,559	830	1,241	851	4,798	118	88	856	663
A 2	妊娠届出数	11	94	198	227	45	51	39	237	5	2	22	31
A 3	児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	0	21	6	15	11	15	10	37	2	0	5	3
<母子保健分野の状況> *H30.3.31時点													
B 1	母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100.0%	100.0%	90.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B 2	乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	100.0%	92.9%	96.4%	100.0%	80.0%	96.6%	100.0%	98.2%	99.2%	98.6%	96.7%	95.0%
B 3	同未受診児の現認率*	-	0.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
B 4	1歳6ヶ月児健康診査受診率	97.0%	95.0%	95.8%	100.0%	100.0%	100.0%	94.4%	90.8%	97.9%	97.4%	94.7%	100.0%
B 5	同未受診児の現認率*	100.0%	100.0%	66.7%	-	-	-	0.0%	12.5%	80.0%	0.0%	100.0%	-
B 6	3歳児健康診査受診率	90.5%	97.2%	92.3%	87.5%	66.7%	87.1%	100.0%	85.6%	97.2%	96.0%	93.9%	93.8%
B 7	同未受診児の現認率*	28.6%	100.0%	52.9%	0.0%	100.0%	100.0%	-	38.9%	71.4%	0.0%	100.0%	50.0%
B 8	母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<子育て支援事業の状況>													
C 1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 2	同事業の訪問率*	100.0%	100.0%	96.6%	94.6%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
C 3	養育支援訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 4	同事業の年間訪問戸数	0	53	17	8	50	3	1	15	0	5	-	7
C 5	子育て短期支援事業の実施	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
C 6	一時預かり事業の実施	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
C 7	児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	21	56	0	0	11	0	0	42	0	0	0	0
C 8	未所属児童の把握にかかる調査の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C 9	民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・乳児家庭全戸訪問事業	-	-	・妊婦健診、乳児健診、子育て教室にて民生児童委員の紹介。 ・民生児童委員による育児相談を実施。	・民生児童委員が、子育て支援活動として子育てイベントにおける交流会に参加。	・地域における要支援児童への見守り支援。	-	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業 ・村内の保育所、小学校、中学校を主任児童委員が訪問し、子どもの育ちに関する確認や相談支援を実施。	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業
<広報啓発の状況>													
D 1	オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
D 2	啓発の方法等	・職員がオレンジリボンを装着し、啓発物品の窓口配布を実施。	・県内一斉のオレンジリボンキャンペーンにて、西和警察署と連携し、啓発物品を配布。 ・こども園や子育て支援センターに児童虐待防止を啓発するポスターを掲示。	・町民向けイベント(人権フェスタ)にて児童虐待防止に関するパネル展示及び啓発物品の配布(オレンジリボン等)。	・町の広報誌(いかるが11月号)に児童虐待防止月間を周知する啓発記事を掲載。 ・町民向けに「虐待について」と題した啓発講座を開催。	・町の広報誌およびホームページに啓発記事を掲載。 ・町民向けイベントでオレンジリボン等の啓発物品を配布。 ・オレンジリボンモニュメントの作成と展示。	・町の広報誌に児童虐待の通告を促す啓発記事を掲載。 ・町の文化祭において啓発物品を配布。	・町の広報誌に児童虐待防止に関する啓発記事を掲載。 ・町の文化祭において、啓発物品の配付。	・5月の児童福祉週間に、町の広報誌に児童虐待に関する啓発記事を掲載。 ・11月の児童虐待防止月間に、町の広報誌に児童虐待の通告を促す啓発記事を掲載。 ・11月に田原本駅前にて、オレンジリボンキャンペーンのための啓発物品を配布(ディッシュ等)。	・来庁者、村職員に対して啓発物品を配布(チラシ、オレンジリボン等)。	・児童虐待防止にかかる啓発物品を窓口配布(オレンジリボン等)。	・町の広報誌に児童虐待防止にかかる啓発記事を掲載(2回/年)。 ・村職員にオレンジリボン着用の呼び掛けを実施。	
<児童虐待への対応状況>													
E 1	要対協個別ケース検討会議開催回数	0	11	4	11	40	4	8	7	2	5	4	3
E 2	家庭児童相談員の配置	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
E 3	児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.3	0.4	1.1	0.5	0.6	1.0	0.7	0.4	0.1	0.1	0.3	0.8
E 4	実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	0.0	52.5	5.5	30.0	18.3	15.0	14.3	92.5	20.0	0.0	16.7	3.8
E 5	児童虐待対応のための体制拡充												
	①職員の増員	○											
	②広報啓発の実施												
	③研修会の開催												
	④備品購入・改修等の環境整備												
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築												
	⑥市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置												○
	⑦その他の体制強化		・実務者会議の実施体制の見直し(支援分類の見直しと実施回数の見直し)。								・子育て世代包括支援センターの設置		

平成29年度 市町村における
児童虐待防止対策の取組状況

項目		上北山村	川上村	東吉野村
<基本的データ>				
A	1 児童人口(0~17歳)	26	80	102
	2 妊娠届出数	0	3	2
	3 児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	0	0	0
<母子保健分野の状況> *H30.3.31時点				
B	1 母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	-	100.0%	100.0%
	2 乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	-	100.0%	100.0%
	3 同未受診児の現認率*	-	-	-
	4 1歳6ヶ月児健康診査受診率	-	100.0%	100.0%
	5 同未受診児の現認率*	-	-	-
	6 3歳児健康診査受診率	100.0%	100.0%	85.7%
	7 同未受診児の現認率*	-	-	0.0%
	8 母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○
<子育て支援事業の状況>				
C	1 乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○
	2 同事業の訪問率*	100.0%	100.0%	100.0%
	3 養育支援訪問事業の実施	○	-	○
	4 同事業の年間訪問戸数	2	-	0
	5 子育て短期支援事業の実施	-	-	-
	6 一時預かり事業の実施	-	-	-
	7 児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	0	0	9
	8 未所属児童の把握にかかる調査の実施	○	○	○
	9 民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動	-	・乳児家庭全戸法訪問事業 ・支援が必要な家庭への相談支援の実施
<広報啓発の状況>				
D	1 オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○
	2 啓発の方法等	・村のイベント(差別をなくす村民集会、長寿と健康の集い等)で啓発物品配布。	・児童虐待防止の啓発物品を窓口配布。	・児童虐待防止の啓発物品を窓口配布。
<児童虐待への対応状況>				
E	1 要対協個別ケース検討会議開催回数	0	1	0
	2 家庭児童相談員の配置	-	-	-
	3 児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.1	0.1	0.3
	4 実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	0.0	0.0	0.0
	5 児童虐待対応のための体制拡充			
	①職員の増員			
	②広報啓発の実施	○		
	③研修会の開催			
	④備品購入・改修等の環境整備			
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築			
	⑥市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置			
	⑦その他の体制強化			